ふかまちのまど

第一三三号　〇四年〇七月一日
発行元　深町町内会連合会
連絡所　☎六三―三八八二

町内会連合会活動報告

行事報告とお礼

体育部長　秋本賢治

町民運動会

五月三十日・深小運動場

深幼・小運動会に引続き、午後から町民運動会を盛大に開催しました。壮青会、女性会、尚寿会を始め多数の町内の皆様のご参加を頂き、太鼓おどり、親子リレー、玉入れ、総合リレーなどでみんな楽しく頑張りました。また、町内の皆様の交流や親睦も深めました。

市民ゲートボール大会

六月六日　市陸上競技場

成績　男子　十四チーム中六位

市民グラウンドゴルフ大会

六月六日　市民球場

成績　男子　十八チーム中十七位
女子　十七チーム中十三位

梅雨入りのため両日とも天候が心配されましたが、幸い天候も回復し、町内の皆様のご協力と多数のご参加を頂き、無事これらの行事終わることが出来ました。

改めて心より厚くお礼を申し上げます。▲▲

深小だより

深小学校　中本真紀

四月から深小学校でお世話になることになりました、中本と申します。

この『ふかまちのまど』は、前任校中之町小学校で拝読させていただく機会がありました。このような通信を町で継続的に発行されている深町はすばらしい所だと感じておりましたが、その時はまさか自分が参加させていただけようとは思ってもいませんでした。

私は事務の仕事をしております。子どもたちが学校で楽しく遊んだり勉強ができるよう、教育条件整備に努めてまいりたいと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。▲▲

尚寿会だより

尚寿会会長　幸谷　満夫

泥落とし旅行（六月十四日）

会員等二十二名が、岡山県金光町の岡山健康プラザへ向かって九時出発、途中、鴨方町の平喜酒造で工場見学と利き酒、そうめん工場の売店へ立ち寄る等して十一時に到着しました。

入湯の後、十二時から会食に入り、芝居や舞踊ショーを楽しみました。

十六時から帰途につき、四十分後に深町へ帰着しました。▲▲

平成十六年度各種団体長よろしくお願いします

町内会連合会長	西本一二三
上組町内会長	西本一二三
中組町内会長	広川弘之
下組町内会長	秋本賢治
町民会館長	広川弘之
農業振興協議会長	村上徹郎
水利組合長	石井静夫
消防団長	為清敏治
尚寿会長	幸谷満夫
女性会長	亀谷庸子
壮青会長	為清敏治
子ども会長	小川和彦
はなみずきの会長	林一恵
深小学校長	籔本幸子
深小PTA会長	迫強介
如水館中・高校長	東風上清剛

※順不同　敬称略

今年も、恒例の「夏祭り」を次の通り開催いたします。

皆様方にはご多忙中とは存じますが、お越し頂ければ幸いに存じます。

日時　七月十七日（土）
　　十八時～二十時
　　（雨天決行）
場所　サンライズ大池
催し物
　田山ひろしさん歌謡ショー、
　カラオケ、屋台等

※飲食物等につきましは、一部有料になります。▲▲

女性会だより

深町女性会会長　亀谷庸子

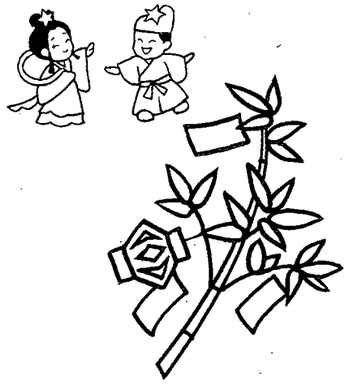
今月は、深町女性会の年間の活動予定を掲載させて頂きます。

四月　総会・JA共同購入
五月　ごきぶりだんご作り
　　町民運動会参加
六月　一日旅行（足立美術館と山陰の幸会席と温泉）
七月　料理講習・クリーンデー
九月　ジャム作り
十一月　チャリティリサイクル
十二月　JA交通傷害共済の推進
一月　新年会

その他、町内会の行事への参加、又、上組、中組、下組に別れて親睦会を行なっております。

それぞれに楽しい催しを企画しておりますので、ぜひ、深町女性会への入会、いつでもお待ちしております。▲▲

短歌・俳句・詩



中組　仲峠講　竹内　博満

脚（きゃく）を出し
大きく見ゆる飛行機よ
山に立ち居てしばし眺むる

あまりにも
辛（つら）きものかな透析は
叫び声あぐる老人の居て

わが短歌
日常そのまま飾（かざ）らねど
たまには人の心打ちたく

※前回の作品の中で一字脱字がありました。お詫びして次の通り訂正します。

◎
満天の星一斉（いっせい）に流るごと
師は旅逝きぬ九十五才

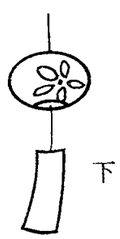
▲▲

深町各種団体七月行事予定

◆小学校・幼稚園
▼ぴよぴよハウス㊍　一日
▼子ども国際教室　二日
▼誕生会㊍・七夕会㊍　七日
▼児童会選挙　八日
▼二中生徒保育体験㊍　八日
▼集金日　九日
▼廃品回収・地域懇談会　十一日
▼終業式・夏祭り㊍　二十日
▼個人懇談会　二一日
▼水泳記録会　三十日

◆如水館中・高等学校
▼オープンスクール（高校）　十・十八日
▼オープンスクール（中学）　十一・十九日
▼終業式　二一日

◆女性会
▼懇親会　上　第三水曜
　　中　第一木曜
　　下　第二日曜



展望席

「太公望」とは、言うまでもなく魚釣りの好きな人のこと。

中国の周の文王（紀元前一〇〇〇年頃）が狩猟に出て、渭水（イスイ＝川の名）で魚を釣っている老人のそばを通りかかった。当時は狩猟の前によくウラナイをした。その日のウラナイには、「収穫は、竜や虎などではなく、覇王を補佐する人物である」とあったので、文王はその老人を見て、「この魚釣りの老人こそがその人物だったのか」と直感した。

文王の祖父（太公）が「いつか聖人が周に来て、周はその人を得て盛んになる」と予言し、文王は聖人の出現を待ち望んでいた。かくして文王は、この老人（姓は呂（リョ）、名は尚（ショウ））を師とし、太公（祖父）が待望した人物ということで「太公望」という号が送られた。後世これが転じて、太公望は魚を釣る人のことを意味するようになったといわれています。

ある時、文王の「懸命に人材登用につとめているのに、世の中が乱れるのはなぜだ？」との問いに、太公望は「君主が登用した人物が役に立たないからだ。即ち、君主が他人の評判（名前が売れている人）だけを登用の基準にしている。その結果、悪党たちがはびこり賢者はその中に埋没し抹殺され、姦臣だけが口先三寸で高位を得る。そうなると政治は乱れる。」と答えた。

七月十一日は参議院議員選挙。魚釣りには最適な頃かと思いますが、棄権などしないように、太公望のごとき心眼で、自分自身の考えと意思で議員を選び、必ず投票に行きましょう。

深の歴史こぼれ話（2）

農兵について

中組　髙崎　壽郎

江戸末期から明治の初めにかけて、幕府や諸藩では、兵力不足を補うため、農民の内より強壮な者を選んで、非常時の兵士とした。これを、農兵または郷兵といった。

有名な長州藩の高杉晋作率いる奇兵隊には、多くの農兵商兵が含まれていたという。

さて、広島浅野本藩の家老給地の三原支藩でも、いざという時に備えて、各村々より農兵を徴集した。

応募ではなく、成年男子を選抜して兵士としたのである。

家老給地（藩主が家老に知行地として年貢の徴収権を認めた土地）は、七郡（御調・豊田・恵蘇・三上・三吉・甲奴・安北）五一ヶ村であり、深村は御調二三ヶ村の一つ。

深村は、城付五ヶ村（木原・東野・西野・山中・須波）につぐ重要な位置にあった。

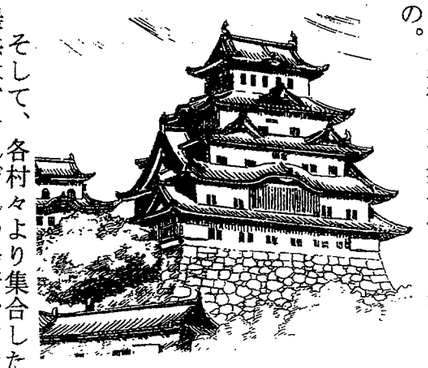
農兵は、平素は百姓仕事をしながら、いざという時は、急ぎ指定の場所へ集まってきた。

慶応二年（一八六六）の「異変の節、三原表（役所）へ出勤につき頭書」の古文書は、次のような内容である。

「農兵は、近村に何かあった時は左記の所へ集まれ。その内三原より大小炮の音が聞こえた時は、通達を待たず残らず三原へ駆け着けること。但、敵と合戦中ならそのまま防戦し、矢庭に三原へ来るに及ばない。これらは頭分に従え」と。

深分をみると「不加・梶山田組の小銃組三六人は、木田ヶ峠を越え山中村文兵衛方へ集まれ」とある。

三原表で異変の時は、深と梶山田の農兵は、木田ヶ峠（秀吉も通ったといわれる峠の旧道）を越えて、山中村（現中之町）の文兵衛方へ集合せよというもの。



そして、各村々より集合した農兵は、それぞれの場所で、次の指示を待つのである。

梶山田村とは現在の尾道市原田町梶山田のことで、元禄十二年（一六九九）には、梶山田が三原の家老給地になったことは記録にあるが、その理由はわからない。

また、県北の村にも農兵はおり、いざ鎌倉（三原）という時には急ぎ指定の場所へ駆け着けた。

文中に「敵を引受け中ニ候へバ・・・」とあるが、敵とは誰のことだったのだろう。

また、別の古文書には「農兵之内無鉄砲もの二相当ニ候而ハ竹槍并鎌之類持参之事」とあり、第一線で交戦する農兵にとっては、心細い限りである。

農兵がどのような事件にかかわり、どんな活動をしたのか史料がないのでわからない。▲▲

契約トラブルの解決のために（6）

広島県生活センター　082・223・6111

二　クーリング・オフについて

3　クーリング・オフができない場合

特定商取引に関する法律では、次の場合はクーリング・オフは適用されません。

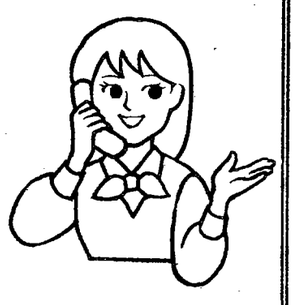
○自分から店舗や営業所等に行って契約したとき

ただし、特定継続的役務提供（いわゆるエステティックサロン、語学教室、家庭教師、学習塾、パソコン教室、結婚相手紹介サービス）のほか、キャッチセールやアポイントメントセールスは、店舗等で契約した場合でもクーリング・オフが適用される。

○　現金取引で、その総額が三、〇〇〇円未満の場合

○　政令で指定された商品、役務（サービス）、権利以外の取引

○　「使用、消費したときはクーリング・オフができない」旨明記された、政令指定の消耗品を使用、消費した場合



○○○　乗用自動車の場合

○○○　通信販売の場合

特定継続的役務提供（エステティックサロン、語学教室等の六役務）の契約時に推奨品として購入した場合

ただし、役務の提供に際し購入する必要がある商品として政令で指定され、交付書面に記載された「関連商品」は、クーリング・オフが適用される。

※広島県生活センターの資料により随時掲載しています。（ふかまちのまど　編集室）▲▲

オープンスクール開催

如水館中学・高校

如水館中学・高等学校では次のとおりオープンスクールを開催します。

皆様のご参加をお待ちしています。ぜひ、楽しい体験をしてみてください。

◆内容

◎中学校

日時　七月十一日（日）十九日（月）

受付　九：〇〇～九：三〇

開始　九：三〇～十二：〇〇

オープンスクールの内容

◇学校紹介☆教育内容・コースの説明

◇体験授業☆基礎学力診断テスト（国語・算数）

☆楽しい英会話

☆わくわく理科実験

◇クラブ活動紹介

参加申込み期限

七月五日（月）

◎高等学校

日時　七月　十日（土）十八日（日）

受付　八：三〇～九：〇〇

開始　九：〇〇～十二：〇〇

オープンスクールの内容

◇コース別体験授業

☆保護者へは、教育内容・全体的なコースの説明を実施します。

◇クラブ見学・体験

☆特進コース、表現コースに関する保護者対象説明を特別に行います。

☆校内見学

参加申込み期限

七月二日（金）

◆対象

小中学生及び保護者

◆その他

如水館オリジナルグッズプレゼント

◆お問い合せ

入試広報室

電話　63－2423（代）

FAX63－2442（代）▲▲

随筆

心原性脳梗塞

中之町　河野　強

M医学博士が、「つまらない健康法」と題してお話をされた。面白くない健康法でなく、「詰まらない健康法」である。

詰まらないと言えば、すぐ思い出されるのが脳梗塞と狭心症だが、脳梗塞は脳内の血管が詰まって発生する病気で、狭心症は心臓を取り巻く冠状静脈と呼ばれる血管が詰まって発生する病気である。

今日は、脳梗塞、特に「心原性脳梗塞について」話された。

一口に脳梗塞と言っても複数あり、その（1）は、脳内の血管にある理由で血の塊である血栓が詰まって起きる。（2）は脳内の血管が動脈硬化に侵され、血管そのものが細くなって詰まるもの。（3）は脳内の細胞が剥がれて傷ができ、そこへ血小板なる物質がへばりついて生まれる脳梗塞の三種類で、「心原性梗塞」は心臓そのものに原因がある脳梗塞である。

血栓という言葉に特に注目されたい。血栓は血液の塊で、いかにして血栓が作られるか、血液は不思議な性質で、傷口など流れ出る血液を固まらせ止血する。この血が固まることこそ実は血栓誕生と深い関係を持っている。

血液は不思議千万なヤツで、血液を大きな容器に入れて規則正しくかき混ぜられれば固まらない。しかし、かき混ぜ方が不規則になると事情は一変、血液の中に何やらブツブツした塊が生じ、しかもブツブツが次第に大きくなる。これが血栓の正体で、このブツブツ性血栓が脳に達すれば脳梗塞。

つまり、心臓が規則正しく動運動していれば血液がサラサラで脳梗塞は起きない。何かの理由で不整脈が発生すれば心臓内でかき混ぜが不規則になると血栓が誕生する。その心原性血栓で起きた脳梗塞が「心原性脳梗塞」と呼ばれるものである。

とっておきの脳梗塞の予防法を伝授しよう。

予防の第一のカギはストレス対策。不整脈が発生しないように。この世知辛い不況の時代、解消は不可能なストレスとは困ったものだ。

予防第二のカギは水分補給だ。不整脈によって発生する血栓といえども、血液さえサラサラであれば、血栓も出来なければ脳梗塞も発生しがたい。歳をとると水分をあまり摂らない傾向がある。せいぜいストレス対策と水分補給には充分ご注意願いたい、とM医学博士は話をむすばれた。

他山の山火事とせず心したいことである。▲▲